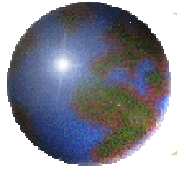


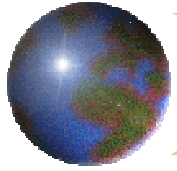
*ICANNバンクーバー会合  
政府諮問委員会報告  
(平成17年11月28日～12月1日)*

平成18年1月26日  
総務省データ通信課  
インターネット戦略企画室  
系 将之



# 目次

	頁
1. G A Cメンバー構成とG A C事務局	3
2. W S I S後のG A Cの在り方 及びG A C事務局	4
3. g T L D政策	5
・新T L D開発ポリシー	
・新T L D導入	
4. その他	6



## 1. GACメンバー構成とGAC事務局

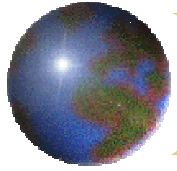
### (1) メンバー構成

- ・40カ国及び3国際機関から約70名が参加
- ・現在、計109メンバーが登録
  - 政府:100カ国
  - 国際機関(オブザーバー):9機関

### (2) GAC事務局

ECのGAC事務局ヘッドのChristopher Wilkinson氏が2005年11月1日付けでリタイア。  
新しい事務局ヘッドにはRichard Delmasを指名。

現在の事務局スタッフは他Allan Mawdsley、Bertrand Mbiaffieの計3名。



## 2. WSIS後のGACの在り方

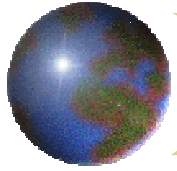
### ポストWSIS

チュニスアジェンダを考慮し、GACの在り方について検討。以下の3つのプロセスが重要事項として挙げられる。

- ) 機能及び資金拠出を含めた、GAC事務局の新しい取組を導入。
- ) GACメンバーの拡大、アウトリーチの発展、人材育成及び国際的参加者の拡大。
- ) ICANNフレームワークに関連する公共政策課題を、より効率的な方法で取り扱うべく改善。

今後、メールベースで検討し、次回ウェリントン会合(3月)までに結論。

さらに、GACはICANN理事会とのコラボレーションプロセスを効率的に改善させるため、ジョイントワーキンググループを設置するというICANN理事会の提案に賛成。



### 3. gTLD政策

新gTLD導入等、gTLDに関連する公共政策課題を中心に議論。

#### 新gTLD

- ・ GNSO理事会から、開発ポリシー(PDP)について検討状況の説明があり、今後GACとしての対応を検討することとなった。

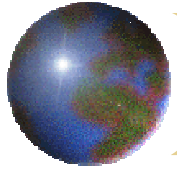
#### 新sTLD導入

##### 【.xxx】

- ・ ICM社とGACとの非公式会合を開催し、「.xxx」の概要について説明を受けた。
- ・ 会合直前の評価報告書の公開を受け、GACとしてのコメントを継続検討することとなった。

##### 【.asia】

- ・ 「.asia」の申請者とGACアジア地域メンバーとの非公式会合を開催。アジア地域政府代表からはこれまでのところ特段の反対表明はない。我が国からは日本語ドメイン名利用の場合の予約語について留意を促し、受け入れられることとなった。



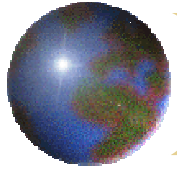
## 4. その他

### 1. IDN

- ・ 我が国から、gTLDにおける日本語ドメイン名利用について、「.jp」のレジストリであるJPRSの定める予約語リストを採用すべきと提案。
- ・ 今後、IDNガイドライン、新gTLD開発ポリシーへの反映を、日本から働きかける方向

### 2. IPアドレス

- ・ GAC/NROの共同でIPv6ワークショップを開催。藤本が共同議長。
- ・ NROからGACに対し、現在すすめられているICANNから地域インターネットレジストリ(RIR)へのIPv6アドレス割振り方針の承認作業の進捗について説明。



## 5 . その他

### 3 . Whois

- ・ ICANNの定める個人情報保護規定と各国法制との乖離について今後検討。

### 4 . WIPO II 勧告

- ・ 「国名・国際機関名の保護」に関する勧告(WIPO2)の実施について、引き続きICANN理事会と協力。